



国総研資料第 1266 号 「3 大湾内の港湾における高潮・波浪への気候変動の 影響評価」を刊行します

気候変動適応策としての港湾施設設計や港湾における将来の浸水リスク評価のためには、高潮や高波の将来変化を予測する必要があります。そこで、東京湾・伊勢湾・大阪湾における高潮偏差および波高について、現在の設計値に対する将来変化比を評価するための参考として、再現期間に応じた将来変化比を算出しました。本研究の成果の高潮偏差および波高の将来変化比は、将来の港湾施設を設計する際に活用できます。

<目次>

1. まえがき
2. 数値解析手法
3. 高潮偏差の将来変化予測
4. 波高の将来変化予測
5. まとめ
6. あとがき

付録 A : 高潮偏差の将来変化予測の詳細結果

付録 B : 高潮偏差の極値統計解析結果

本資料は、国総研ホームページで公開しています。

ダウンロード先 URL : <https://www.y.sk.nilim.go.jp/kenkyuseika/pdf/ks1266.pdf>

(問い合わせ先)

国土技術政策総合研究所 港湾・沿岸海洋研究部 港湾・沿岸防災研究室
室長 本多 和彦 (内線 : 3220)

TEL : 046-844-5019 E-mail : ysk.nil-46pr@gxb.mlit.go.jp